



一般質問

9月定例会の一般質問は9月14日に行われ、2名の議員が村政全般にわたり質問しました。

質問項目は下記のとおりとなります。次ページより、やり取りの一部を抜粋して紹介いたします。詳細な内容は会議録の公表をお待ちください。



やまざき さちこ
山崎 幸子 議員

所属委員会：厚生文教委員会

- 1 「中学校の制服」について
- 2 「デマンドタクシー」について

まつむら ひろし
松村 広志 議員

所属委員会：厚生文教委員会

- 1 “おひとり様”等の終活支援事業について
- 2 防災支援について
- 3 消費者相談体制について
- 4 学校教育とSDGsについて

「中学校の制服」について



やまざき さちこ
山崎 幸子
議員

質問 中学校の制服だが、以前の答弁で「生徒会の話し合いの場で、制服のあり方について話し合ってみる」との事だったが、その後、生徒会で話し合ったのか。又、その内容はどのようなものだったか。

答弁 (教育部長) 本年、生徒会と担当教諭で話し合いは行われた。職員レベルで制服は男女の指定をなくす方向で中期的な課題として検討している。

質問 スカートをなくことに抵抗のある生徒に対しては、どのような対応をするのか。

答弁 (教育部長) 「学校生活が全ての生徒にとって充実することを目指す」ことを踏まえ、本人・保護者と面談を行うよう、校長へ指導していく。早めに教育委員会に相談して欲しい。

「デマンドタクシー」について

質問 デマンドタクシーの昼12時の増便と、東京医科大学茨城医療センターでの乗降場所を、正面入り口前にできないか。

答弁 (保健福祉部長) 地域公共交通会議に諮り、運輸局で許可されないと変更はできない。

質問 地域公共交通会議は毎年行われているので、村長から話をしてもらいたい。

答弁 (村長) 2点の件は、会議の中で提案していきたい。

学校教育とSDGsについて



まつむら ひろし
松村 広志
議員

質問 昨年度から始まった中学校のSDGs（持続可能な開発目標）の学習が好取組事例として茨城新聞で紹介された。学習の成果や課題、今後の新たな「ごも基本法」による推進について問う。

答弁 (教育部長) 日本や世界の課題等への関心の向上や、目標の社会への主体性や創造性の育成に繋がった。目標の幅が広いことや、教科書的なものがない



や、教科書的なものがない

め授業の工夫が求められる。推進については、国や県からの施策を勘案し村の計画を策定していく。

質問 学校教育以外の取り組みはどうか。

答弁 (教育部長) 生涯学習の場においても行っていく。

「防災支援について」

質問 非常時の「防災リュック」は災害時の必要アイテムがセットされており評価も高い。非課税世帯等の購入の助成は出来ないか。

答弁 (経済建設部長) 村の防災備蓄用品を活用しながら支援の研究をして参りたい。

※この他、「おひとり様」等の終活支援「消費者相談体制」について質問を行った。